

★ ★ ‘星空舞’栽培において

畜産糞堆肥施用が可能となりました！

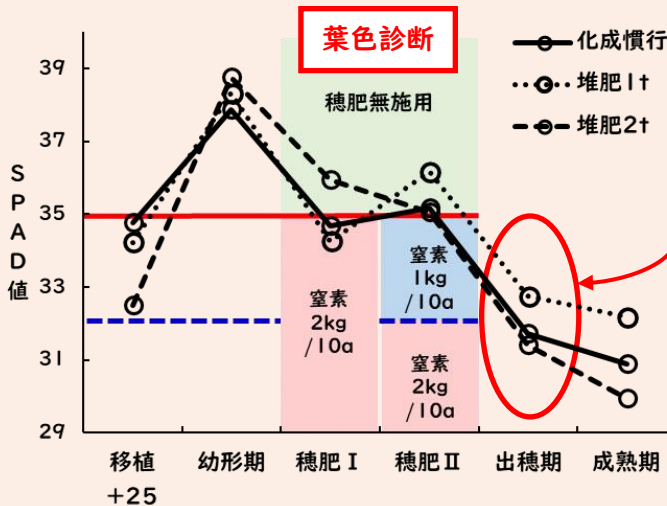
～夏の高温対策・土づくりに畜産糞堆肥を活用しましょう～

概要

★ ‘星空舞’において牛糞堆肥を施用する場合、**施用量2t/10aまでであれば、慣行栽培と同等の肥培管理により収量・品質の確保が可能である。**

★ただし、鶏・豚・牛糞混合堆肥など**速効性窒素が多く含まれている堆肥を春に施用する場合、基肥窒素量の削減を検討する。**

春施用時の「堆肥施用量」



葉色診断に応じた
穂肥の施用により、
出穂期の葉色を
制御できているね！



図1 春施用の牛糞堆肥施用量の違いが葉色に及ぼす影響

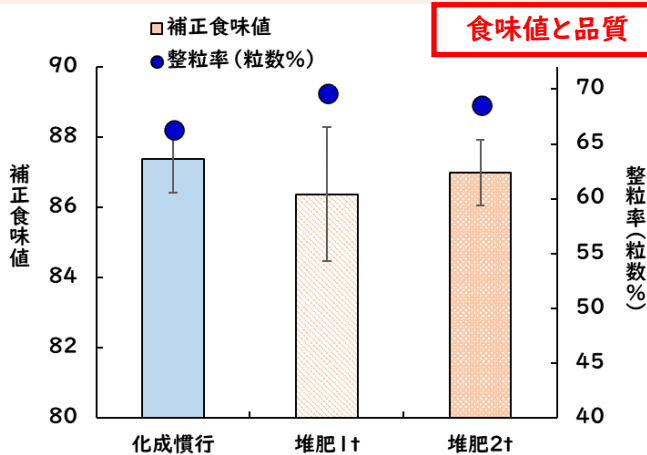


図2 牛糞堆肥施用量と食味値・品質の関係

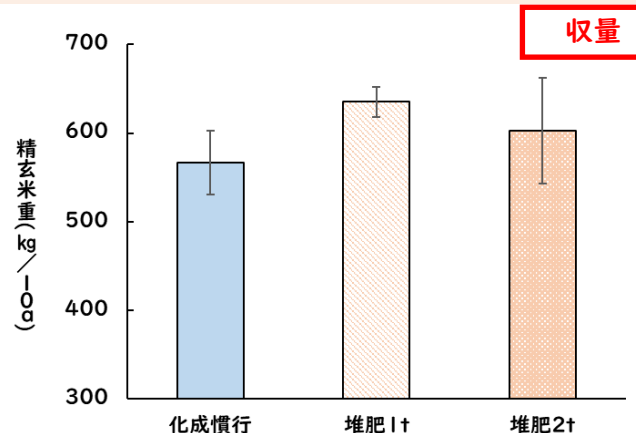


図2 牛糞堆肥施用量の違いが精玄米重に及ぼす影響

●施用量2t/10aまでであれば、慣行的な肥培管理で
→**化成慣行栽培と同等の収量・食味値・品質を確保可能。**

現地実証（堆肥の春施用）

■ 対照 ■ 堆肥
(化成肥料のみ) (1~2t/10a)

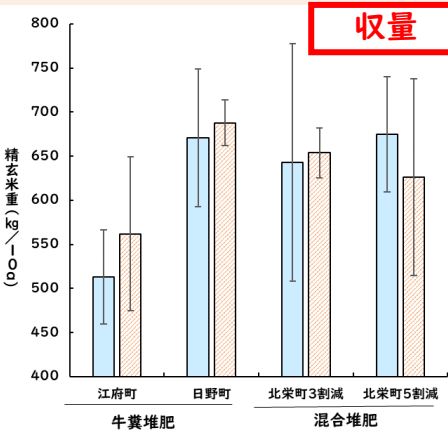


図4 堆肥春施用が精玄米重に及ぼす影響

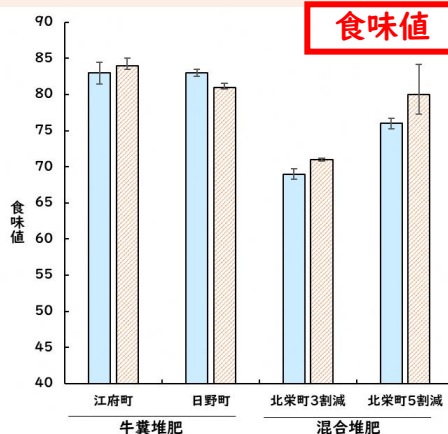


図5 堆肥春施用が食味値に及ぼす影響

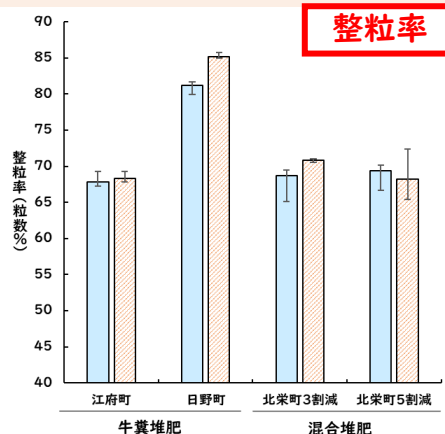


図6 堆肥春施用が品質に及ぼす影響

- **牛糞堆肥**施用時→慣行的な肥培管理で収量・食味値・品質を確保。
- **速効性窒素**が多く含まれている、牛糞を主原料とする**混合堆肥**
- **基肥窒素量を3~5割削減**することで、収量・食味値・品質を確保。

現地実証（堆肥の秋施用）

表1 堆肥秋施用時(1~2t/10a)の収量・食味値・整粒率の星空舞目標値との比較

試験場所	精玄米重 (kg/10a)	食味値	整粒率 (粒数%)
江府町慣行	613	87	75.7
江府町特裁	636	86	79.8
三朝町	568	86	71.6
日南町	648	87	83.2
目標値	500以上	80以上	70以上

堆肥の秋施用と
慣行的な肥培管理で
収量・食味値・品質、
すべての目標値を
達成しているね！



共通注釈

- 図中のバーは標準偏差を示す。t検定を行ったが、有意差は認められなかった。(有意差無しと記載)
- 精玄米重および食味値は水分15%換算で示した。
- 堆肥の春施用を行った北栄町ほ場では、堆肥中窒素濃度が高いことを考慮し、堆肥区の基肥窒素量を削減した。(N施用量:北栄町3割減2.1kg/10a、北栄町5割減1.5kg/10a)
- その他のほ場における肥培管理は現地慣行とした。

利用上の留意点

- 牛糞堆肥は必ず成分分析結果を把握し、腐熟の進んだものを使用すること。
- 牛糞堆肥に、豚糞、鶏糞等が混合されているなど、一般的な牛糞堆肥以上の速効性窒素の溶出が見込まれる場合は、お近くの普及指導機関にご相談のうえ、基肥窒素施用量の削減を検討すること。
- 2024年に鳥取県東部1ほ場、中部3ほ場、西部4ほ場で試験した結果である。